

# 樽見さん副操縦士に昇格

## JTA女性2人目 大阪出身

夢諦めず挑戦続ける



JTAの機体を背に、副操縦士昇格を喜ぶ樽見果奈さん。23日、那覇空港

日本トランスオーシャン大学(熊本県)に進学した。

(JTA) 運航乗員部737

1800第1乗員室第1グループの樽見果奈さん(24)がこ

のほど、社内での訓練を経て

副操縦士に昇格した。女性の

副操縦士は同社では2人目だ

が、1人が退職したため、現

在は1人。樽見さんは「パイ

ロット」というと男性のイメ

ジがあり、周囲から大丈夫か

と言われたこともあったが、

それでもなりたかった」と夢

を諦めずに挑戦した結果に胸

を張った。

大阪府出身。幼い頃、親の

送り迎えで空港に行く機会が

あり、自然と航空業界で働き

たいと考えるようになったと

いう。最初の夢はキャビンア

テンダント(CA)だったが、

年を重ねるうちに整備士、パ

イロットと目標を具体化。パ

イロット養成課程がある崇城

大学(熊本県)に進学した。

2020年3月の卒業後は

「家族旅行で毎年のように来

ていた」という沖縄のJTA

に入社。翌年1月からは早速、

副操縦士昇格訓練を開始し

た。「勉強量の多さに苦労し

たが、やれるだけやってみよ

うと挑んだ」

晴れて今年3月1日付で副

操縦士に昇格。副操縦士は機

長のサポート役として、主に

飛行ルートの入力や管制官と

の通信を担当するが、技量の

維持・向上のため操縦を担当

することもあるという。

昇格後初のフライトは同3

日の那覇発石垣行のJTA6

01便。まだ緊張も残るが「こ

の飛行機なら安心できると

言ってもらえるようなパイロ

ットになりたい」と意気込

んだ。